

表層は「平年並み～高め」、下層は「平年並み」で推移
(平成25年12月の海況と今後の予測)

平成25年12月10日
茨城県水産試験場

1. 本県周辺海域の概況(図1, 12/6現在)

- ・黒潮の流型は、蛇行したC型で推移しています。黒潮本流は犬吠埼を離岸傾向で通過し、本県沖合の東経142° 以西海域を北北東～北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯40° 30′ 東経144° 付近(襟裳岬沖)にあります。親潮の面積は平年並で推移しています。
- ・三陸沖の北緯40° 東経144° 付近および金華山沖の北緯38° 東経142° 30′ 付近に暖水塊が形成されています。

2. 海洋観測結果(12/2～4: 調査船「いばらき丸」)

- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また, 各定線の鉛直水温図を図10～13に, 会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14～17に示しました。東経143° 以西における表面水温は, 会瀬沖で16.9～22.5℃, 大洗沖で15.7～21.5℃, 鹿島沖で16.9～21.3℃, 犬吠埼沖で18.3～21.8℃でした(図2)。
- ・前月と比べると, 季節的な水温変動に伴い, 表層・下層(100m)とも降温(-6～-1℃)しました。特に, 前月暖水波及の影響を強く受けた会瀬～鹿島の沿岸域(東経141° 以西)では大きく降温(-6～-3℃)しました(図6～7, 図14～15)。
- ・平年と比べると, 表層は「平年並み～高め」、下層は「平年並み」となりました(図8～9, 図16～17)。
- ・潮流の特徴として, 本県沖合の東経142° 以東海域では黒潮本流の北北東～北東への強い流れ(2.0～3.5ノット)が観測されましたが, 東経141° 以西の沿岸域では1ノット以上の強い潮流は観測されませんでした。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は蛇行したC型で推移するでしょう。また, 黒潮流路は本県沖を北東に流去する状態がしばらく続くでしょう。
- ・親潮の面積は平年並～大きめで推移するとみられ, 親潮第一分枝の先端は北緯39° 30′, 東経147° 付近(岩手県沖合)に位置するとみられます。親潮系冷水は, 津軽暖流の張出しや暖水塊が存在する東北海域沿岸を南下せず, 沖合側を南下するとみられます。このため, 親潮系冷水が本県海域に直接影響することはないでしょう。
- ・水温を平年と比べると, 全域で「平年並み～やや高め」で推移するでしょう。

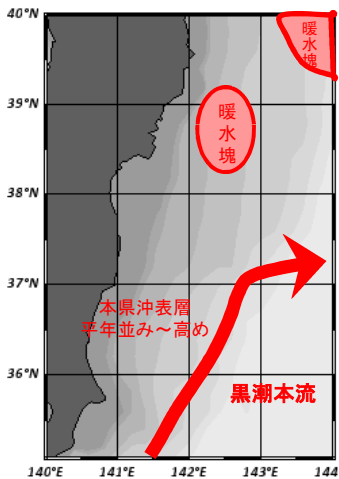


図1 海況の概要
(12月6日現在)

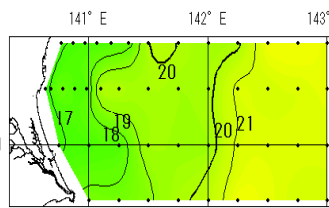


図2 海面水温(℃)

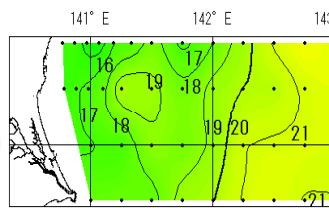


図3 50m深水温(℃)

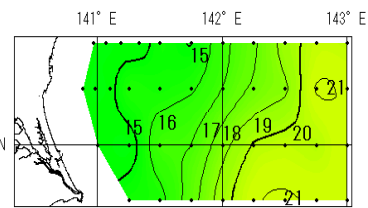


図4 100m深水温(℃)

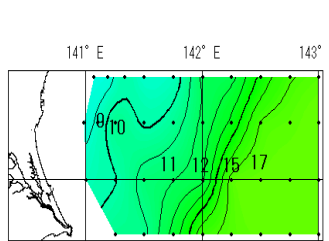


図5 200m深水温(℃)

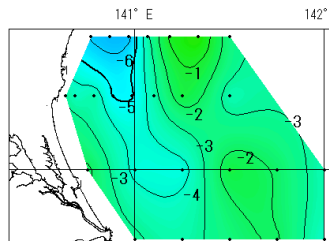


図6 海面水温前月差(℃)

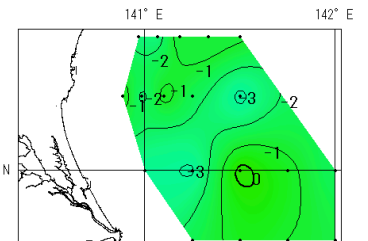


図7 100m深水温前月差(℃)

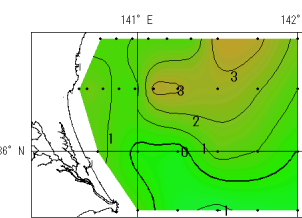


図8 海面水温偏差(℃)

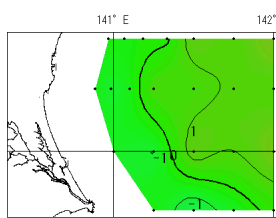


図9 100m深水温偏差(℃)

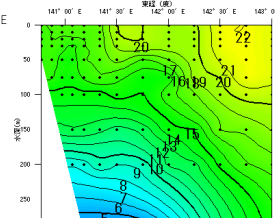


図10 会瀬沖鉛直水温(℃)

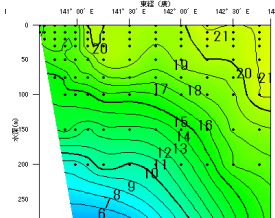


図11 大洗沖鉛直水温(℃)

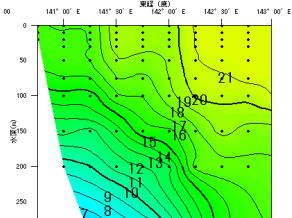


図12 鹿島沖鉛直水温(℃)

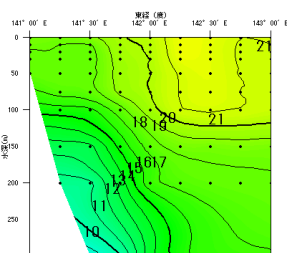


図13 犬吠埼沖鉛直水温(℃)

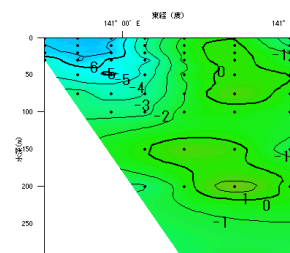


図14 会瀬沖鉛直水温前月差(℃)

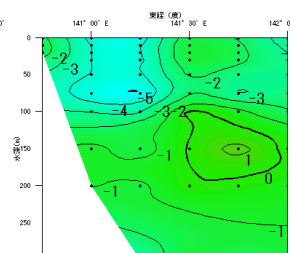


図15 鹿島沖鉛直水温前月差(℃)

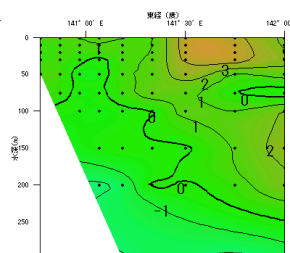


図16 会瀬沖鉛直水温偏差(℃)

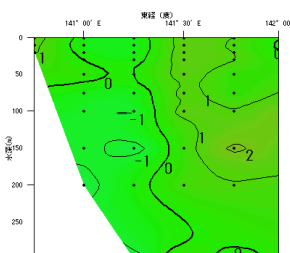


図17 鹿島沖鉛直水温偏差(℃)